

会 議 録

会議名	平成23年度 第4回 丸亀市総合計画審議会
開催日時	平成23年11月29日(火) 10:00~12:10
開催場所	丸亀市役所 本館2階第3会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">小野 健一 片山 圭之 板倉 真 牛島 授公 岩崎 晶典 岩田 理香 奥村 素一 砂古 敏之 橘 節哉 藤田 登茂子 宮本 喜美代 臼杵 實 北風 智恵実 林 毅 大倉 祐紀 佐野 一樹</p> <p>(欠席委員)</p> <p style="text-align: center;">内田 俊英 金 永子 篠塚 智枝子 早馬 倫代</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">企画財政部長 大林 諭 政策課長 矢野 律 政策課副課長 小山 隆史 政策課 高倉 鋭悟 政策課 真鍋 裕章</p>
議 題	<p>1. 総合計画後期基本計画の政策体系について</p> <p>2. その他</p>
傍聴者	1名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
政策課長	失礼いたします。ご案内の時間になりましたので、ただいまから第4回丸亀市総合計画審議会を開会します。最初に、企画財政部長よりご挨拶を申し上げます。
企画財政部長	<p>おはようございます。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。最近だいぶん寒くなってきましたので、委員の皆様も、お体に気をつけてください。</p> <p>さて、本年7月の第3回審議会から間隔が開きましたが、その間、国では、3月の東日本大震災の復旧に向けて、現民主党政権の目玉政策であった子ども手当が見直されるなど、復旧財源の確保が進められました。その結果として、先日、総額12兆円に及ぶ第3次補正が成立するなど、ようやく復旧に向けて本格的に動き出した一方で、報道されている社会保障と税の一体改革については、まだまだ先行きが不透明な状況ですので、このような国の状況について、逐一、正確な情報の収集に努めなければならないと考えているところです。</p> <p>また、本市においては、明日から市議会12月定例会が開会され、様々な議論が繰り広げられますが、それと同時に平成24年度予算編成も進めています。国の動向が不透明なことに加えて、経済の低迷が続いておりますことから、歳入の確保にたいへん苦慮しているところですが、基本的には、歳入に見合った事業の実施ということを念頭に、事業の選択をしながら、予算編成を進めていますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>そこで、総合計画の後期基本計画ですが、現在のところ、本日の資料である評価結果(内部評価)や外部評価報告書にありますように、前期基本計画の総括を終え、それらに基づいて、</p>

	<p>後期基本計画の政策体系案をつくりました。</p> <p>前期基本計画の5年間に、市民ニーズは変化し、国や県の制度が変わったものもあります。また、東日本大震災の教訓としての危機管理体制の確立など新たな課題も出てきています。これらを十分に後期基本計画に反映させるために、委員の皆様からは、それぞれの立場、また、その立場を超えた意見をいただきたいと思っています。</p> <p>いずれにしても、市民、議会、企業、行政のそれぞれが力を合わせて、より良い丸亀をつくるため総合計画にしなければなりませんので、忌憚のない意見を、どんどん出していただきますようお願いいたします。</p>
政策課長	<p>それでは、議事に入る前に、本日の資料のご確認をお願いします。</p> <p>【事前配布資料1】丸亀市総合計画（前期・後期）基本計画政策体系 【事前配布資料2】丸亀市総合計画前期基本計画評価結果（内部評価） 【当日配布資料1】平成23年度丸亀市行政評価（外部評価）報告書 【当日配布資料2】今後のスケジュール（予定） 【当日配布資料3】丸亀中学生未来会議報告書</p> <p>すべてお揃いでしょうか。</p> <p>お揃いのようなので、議事に移ります。ここからの議事については、丸亀市附属機関設置条例第7条第1項の規定により、牛島会長をお願いします。</p>
牛島会長	<p>それでは議事に入ります。事務局から説明があったように、行政評価による前期基本計画の総括がまとまりましたので、本日の会議は、それを受けて、意見を出していくということになります。後ほど事務局から、政策体系についての説明もあるようなので、積極的に意見を出してください。</p> <p>それでは、会議を進めたいと思いますが、その前に、本会議は、委員20名中16名が出席していますので、丸亀市附属機関設置条例第7条第2項の規定により、有効に成立していることを報告しておきます。</p> <p>続きまして、本日の議事の1番目、総合計画後期基本計画の政策体系について、事務局より説明を求めます。</p>
政策課真鍋	<p>【【事前配布資料2】丸亀市総合計画前期基本計画評価結果（内部評価）に基づき説明】</p>
政策課副課長	<p>【【当日配布資料1】平成23年度丸亀市行政評価（外部評価）報告書に基づき説明】 【【当日配布資料3】丸亀中学生未来会議報告書に基づき説明】 【【事前配布資料1】丸亀市総合計画（前期・後期）基本計画政策体系に基づき説明】</p>
牛島会長	<p>事務局の説明は終わりました。ある程度まとまった議論とするために、まずは、総合計画の政策体系全体について総括的な意見を聞いて、次に、政策の柱ごとに個別の意見を聞くという形で進めたいと思います。では、総括的な意見はありますか。</p>

片山委員	<p>前期計画の反省を踏まえての後期計画づくりは評価しますが、全体を見据えた計画をつくる上で、政策、施策、事業と細かく見ていくうちに、全体を見失った細切れの計画になってしまふことが懸念されます。それぞれの取り組みについて担当部署で区切るのではなく、市全体として横断的に取り組んでいかないと、いくら良い計画ができて、十分な成果には繋がらないと思います。</p> <p>総合計画は幅広い計画ですので、それぞれのセクションに分かれていくことは仕方ない面もありますが、成果を重視するために、全庁横断的に、市全体のことを考えながら進めていくという視点を忘れないよう指摘しておきます。</p>
企画財政部長	<p>総合計画は、まちづくりの指針として、市のすべての取り組みが凝縮されています。施策から事業へと枝分かれしていく中で、より細かく専門的になっていきますが、計画づくりの段階では、それが行き過ぎないように、いろいろな分野から総合計画審議会に参加いただき、幅広い意見をいただいております。全体的な市民ニーズを把握し、それを反映させるということで、市政全体を見据えた計画にしたいと考えておりますので、よろしくお願いします。</p>
牛島会長	<p>部局横断的に取り組みを進めるということは重要な視点ですので、計画の総括に書き込むなど検討して欲しいと思います。</p>
砂古委員	<p>前期計画の体系にある「明確な目標設定と評価」「まちづくりの現状と課題の共有」が、後期計画の体系にはありません。総合計画のような長期計画においては、このような進行管理を着実にしていくという視点は大切と思いますが、どのような意図があるのですか。</p>
政策課副課長	<p>後期計画においては、主要な施策「行政運営の最適化」の施策の展開「行政サイクルの確立」に、今の内容が含まれます。重要な視点であるという認識は同じですので、主要な施策に位置付けることも検討したいと思います。</p>
臼杵委員	<p>後期計画は、前期計画と比べて、施策の展開の部分で多くの取り組みが挙げられており、市民としては分かりやすくなりました。ところで、施策の展開に番号が付けられていますが、これは市としての優先順位を示しているのですか。そうでないのなら、公平性から番号を付けるのは止めた方が良いと思います。</p>
政策課副課長	<p>優先順位という意味合いではなく、今回の資料では、説明や議論の便宜上、わかりやすいように番号を付けているものです。政策体系の表記の仕方については、今の意見も踏まえて、検討したいと思います。</p>
橋副会長	<p>前期計画の評価を後期計画に繋げ、それぞれの計画の整合性を保つためには、後期計画をどのように評価するかということまで考える必要があります。また、後期計画のどこにどの程度ウェイトを置くかを明確にするためにも、後期計画の評価方法は重要になってくると思います。そのあたりはどう考えていますか。</p>

政策課副課長	<p>計画の継続性については、評価という意味では、前期計画と同じように後期計画でも成果指標を定めて、進行管理していきます。</p> <p>また、総合計画は、市のすべての取り組みを網羅しようとするため、どうしても総花的になりがちですが、今回の後期計画では、政策体系とは別に、重点的に取り組む事項を示せないかと考えています。</p> <p>丸亀市は平成22年度の国勢調査でも人口は微増していますが、全国的な傾向を見ても、これからは人口の減少が危惧されます。そのような大きな社会情勢の変化の中で、都会への人口流出をどう食い止めるか、あるいは、丸亀を選んでもらうためにどのような取り組みを進めるのかといったテーマを決めて、施策の重点化を図ることも考えておりますので、よろしくお願いします。</p>
橘副会長	<p>定住自立圏構想において、中心市として周辺市町とどのような連携を進めるのかなど、丸亀市の枠組みを越えた取り組みについても、総合計画のどこかで方向性を示す必要があると思います。</p>
政策課副課長	<p>本市にとって必要な取り組みは何かということを考えて、何らかの形で示したいと思います。</p>
牛島会長	<p>さきほどの人口に関連する重点的な取り組みは、総合計画の中で示されるということですか。</p>
政策課副課長	<p>そうです。総合計画の中で、政策体系とは別立てで示すことを考えています。</p>
牛島会長	<p>わかりました。それでは、続いて政策の柱ごとに意見を聞きます。まず、政策の柱 についてですが、私の方から1つ確認があります。前期計画の主要な施策「地球温暖化の防止」「歴史的景観の保全」が、後期計画にはありませんが、何か組み換えがされたのですか。</p>
政策課副課長	<p>「地球温暖化の防止」については、施策として大きすぎるくらいがありましたので、より身近な表現に改めて「環境に配慮した社会づくり」という主要な施策に置き換えています。</p> <p>「歴史的景観の保全」については、前期計画で歴史的な景観に特化していましたが、後期計画では、より幅広い都市景観全般に広げて、政策の柱 の主要な施策「良好な都市景観・住環境の整備」の中に組み込んでいます。</p>
片山委員	<p>人口減少時代に入り、人生をより濃密に生きるということへの渴望がうまれ、その中で先人が築いてきた歴史や文化に深い関心が寄せられていると感じています。そのような時代に、文化財などの歴史的・文化的資源を大切にするとともに、それを学習や観光へ活用することが重要になるとは思いますが、そのような視点が見当たりません。</p> <p>また、忘れてはならないのは、そのような歴史的・文化的資源は、丸亀だけで築いてきたものではなく、日本全体として築いてきたものであり、資料館の企画展を見ても、全国との連携</p>

	<p>により、価値ある展示ができていると思います。そこで、全国的なネットワークを重視する視点も必要と思いますので、それらの視点を入れて欲しいと思います。</p>
<p>政策課副課長</p>	<p>文化財を観光や学習など様々な分野と連携させることは重要と考えていますので、施策の展開で、それぞれの連携を書き込みたいと考えています。</p> <p>また、ネットワークは、これからのキーワードであり、歴史文化に限らず、幅広い分野にその視点を生かしていかなければならないと考えています。</p>
<p>藤田委員</p>	<p>細かいことですが、先日、丸亀城内の資料館に向かう通路のあたりで嫌なにおいがしていました。普段の丸亀城は、清掃が行き届いており、心の洗われるような場所ですが、県内外から多くの観光客が訪れている中で、そのような1点でも嫌なことがあると、印象を損ないかねません。文化財を大切にすること、このような細かい点まで含めて考えて欲しいと思います。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>今の指摘については、担当課に伝えて、早急に対応します。また、丸亀城に関しては、城内トイレの整備など、訪れた方々にとって心地よい環境の整備も進める予定にしています。</p>
<p>牛島会長</p>	<p>続いて政策の柱 に移ります。</p>
<p>砂古委員</p>	<p>主要な施策「農業の振興」の施策の展開「農業生産基盤の充実」とありますが、農業者としては、農地の確保すらままならない今の時代に、生産基盤が充実することはないと感じていますので、充実という言葉には抵抗があります。ここは、確保や確立とすべきです。</p>
<p>政策課副課長</p>	<p>今の意見を踏まえて、表現を検討します。</p>
<p>牛島会長</p>	<p>前期計画の評価で、足りない取り組みとして、中心市街地の活性化がありました。後期計画では、主要な施策「適正な土地利用と市街地の整備」の施策の展開「街なか定住の促進」に含まれていると思いますが、もっと大きなテーマとして取り扱うべきと思います。</p>
<p>政策課副課長</p>	<p>後期計画では、中心市街地の活性化を、施策の展開「街なか定住の促進」に含めて考えていますが、今の意見を参考に、位置付けを検討したいと思います。</p>
<p>臼杵委員</p>	<p>主要な施策「適正な土地利用と市街地の整備」では、施策の展開「地籍調査の推進」が新たに挙げられていますが、地籍調査は事業に過ぎないと思います。ことさらに施策の展開として挙げている理由は何ですか。</p>
<p>政策課副課長</p>	<p>地籍調査は、単に土地を測量して、正確な境界や面積等を確定するだけの事業ではなく、その成果を土地利用の高度化などに結び付けていくという目的も持っておりますので、主要な施</p>

	策「適正な土地利用と市街地の整備」を進めていく上で、必要な取り組みと考える挙げています。
企画財政部長	確かに地籍調査は事業に過ぎませんが、20年程度かけて多大な予算を投入する事業であり、その成果は、災害復旧や市街地の再生などにも及びます。そういった面からも、早急に進めなければならない取り組みと考えています。
牛島会長	予算規模や市の負担が大きい取り組みですので、施策の展開に組み込んでいると思いますが、位置付けについては、さらに検討して欲しいと思います。
橘副会長	地籍調査は、時間と費用を要しますが、それだけの価値のある事業だと思いますので、重点的に進めるべきだと思います。
片山委員	農業施策の中で、耕作放棄地の対策は重要と考えますが、どこに組み込まれていますか。
政策課副課長	主要な施策「農業の振興」の施策の展開「農業生産基盤の充実」に、耕作放棄地について書き込む予定ですが、そこがふさわしいかということも含めて、整理し直したいと思います。
岩崎委員	主要な施策「公共交通の充実」の施策の展開「コミュニティバスの運行」については、どのような考えを入れるのですか。また、それは、地域公共交通活性化協議会が決める範疇ではないですか。
政策課副課長	コミュニティバスは、生活の足として必要であり、運行を維持しなければなりません。一方で、より多くの方に利用していただくため、タイヤの見直し等の工夫も必要であるという考えです。
政策課長	総合計画と地域公共交通に関する計画に限らず、総合計画と分野別計画との整合性は図らなければなりません。細かな部分は分野別計画で示されますので、総合計画では、その大きな方向性を示していきたいと考えています。
片山委員	「コミュニティバスの運行」に関しては、今流行のデマンド交通についても考えていますか。また、コミュニティバスの運行にはお金がかかるとは思いますが、市民の力を借りて、運行会社の株を買っていただき、資金を確保するとともに、高齢者株主には、優待券などを配布し、利用者増を図るなど、新しい展開は考えていますか。
企画財政部長	コミュニティバスの運行の手法等については、所管課において、様々な角度から議論を進めている段階だと思います。総合計画としては、大切な市民の足を守るためにコミュニティバスの運行維持に取り組むということです。

片山委員	もう1つ要望として、新しく「雇用の促進」ということが主要な施策に組み入れられていますが、大変重要な取り組みだと思います。丸亀版のハローワークを作るくらいの意気込みを持って、強力に進めて欲しいと思います。
大倉委員	主要な施策「水道水の安定供給」の施策の展開「災害対策の強化」は、主要な施策「災害に強い都市基盤の整備」の方がふさわしいと思います。
政策課副課長	総合計画には、横断的な取り組みが多いので、複数の主要な施策に関連付けられる取り組みがあります。この場合は、水道事業運営上の課題の1つとして、「災害対策の強化」があるということで、このような位置付けにしています。
佐野委員	主要な施策「観光の振興」の施策の展開「広域観光体制の充実」など、いろいろと広域という文言が出てきますが、どのようなことを想定しているのですか。
政策課副課長	現在、広域行政の新しいあり方として、定住自立圏構想という取り組みが推進されており、本市も中心市となり、周辺市町との協議を進めています。例えば、広域観光ですと、丸亀から琴平まで続く金毘羅街道を観光資源として整備していく取り組みを、広域連携しながら行うことなどが想定されます。
岩田委員	大倉委員の疑問について説明がありましたが、やはり違和感があります。
政策課副課長	その点については、再度、検討したいと思います。
牛島会長	続いて政策の柱 に移りたいと思います。
宮本委員	主要な施策「交通事故・犯罪の防止」に含まれていると思いますが、特に小中学生や高校生の自転車の安全運転の徹底についての取り組みを入れて欲しいと思います。
板倉委員	関連して、そのようなソフト面での充実は大切ですが、ハード面での整備を、自動車を中心に考えがちですので、主要な施策「道路環境の整備」などに、歩行者など交通弱者の視点を大切にした内容も盛り込んで欲しいと思います。
政策課副課長	それらは重要な視点だと思いますので、検討課題とします。
牛島会長	続いて政策の柱 に進みます。

小野委員	<p>主要な施策「子育て支援の充実」については、少子高齢化が進む中で、全国的な課題ですが、出生率が上がり、子どもが増えれば、将来的には社会保障を支える力を得ることになります。このような観点から、個人個人の意識を高めるような取り組みも必要と思います。</p>
政策課副課長	<p>今の意見は、先ほど説明した政策体系とは別の人口に関連した施策の重点化の部分で盛り込みたいと思います。</p>
岩田委員	<p>主要な施策「子育て支援の充実」についてですが、子どもを産んで働きながら育てようとする人が、職に就いていないため保育所に入れず、子どもが居るため就職活動もままならないという問題があると聞いています。サービスはあっても利用できない人の問題を考えて欲しいと思います。</p> <p>また、保育所や幼稚園に行っていない親子の居場所づくりという視点も抜けているように思います。</p> <p>あと、主要な施策「スポーツ・レクリエーション活動の振興」について、競技スポーツという点では、ハーフマラソンや県立陸上競技場の活用など、進んでいると感じますが、一方で、生涯スポーツや障がいスポーツ、レクリエーションという競技スポーツ以外の部分では、市民が親しめるような環境づくりはできていないと感じますので、そのような視点を入れて欲しいと思います。</p>
政策課副課長	<p>主要な施策「子育て支援の充実」については、多様なサービスの提供に止まらず、利用を含めて充実させることを考えたいと思います。</p> <p>また、主要な施策「スポーツ・レクリエーション活動の振興」については、施策の展開が競技スポーツに偏っている傾向がありますので、見直したいと思います。</p>
牛島会長	<p>続いて政策の柱 に移ります。</p>
片山委員	<p>市民参画や協働については、本市の打ち出した大きなテーマですが、前期計画での評価に見られるように、進んでいないと感じますので、後期計画では、抜本的に整理し直す必要があると思います。</p>
政策課副課長	<p>ちょうど自治基本条例の施行から5年が経過し、自治推進委員会等でも検証作業を進めています。それらも参考にしながら、新たな施策の展開を考えていきたいと思います。</p>
片山委員	<p>自治基本条例についても、せっかく市民のための良い条例であるのに、市民には全く浸透していません。そのあたりの対策も含めて考えてください。</p>
岩崎委員	<p>市民参画を促すためには、自治会の加入率を上げることも重要になると思います。</p>

北風委員	行政から市民に対しての情報の発信が下手なため、行政がいろいろと市民のためになることをしていても、それが市民に伝わっていないと感じます。今まで以上に、多くの市民に多くの情報が伝わるような手法を考えて欲しいと思います。
政策課副課長	わかりやすい情報の提示ということは重要な視点であると思います。主要な施策「情報の発信と地域情報化の推進」の施策の展開では、わかりやすい広報活動のような視点が抜けていますので、見直したいと思います。
牛島会長	意見も出尽くしたようですが、再度、全体として、何か言い忘れていることなどありませんか。
小野委員	特に社会資本の整備などは、前の計画から引き継がれて、今回の計画をつくり、さらに次の計画に繋げていくというような、継続性が大切であると思います。長いスパンの中での継続性を意識付けられるような視点を盛り込んで欲しいと思います。
政策課副課長	計画の策定の上でも、継続性は重視したいと思います。
林委員	今回の政策体系に、これまで第1回から第3回までの審議会の意見がどのように生かされているのかわかりません。また、もっと早く政策体系まで示して欲しかったと思います。
政策課副課長	政策体系の提示が遅れたことは、大変申し訳ありませんでした。 政策体系づくりについては、審議会の意見を参考に、全庁的に共通理解が得られるよう調整しながら、進めてきました。これからも、審議会での貴重な意見を参考に、計画づくりを進めていきたいと思いますので、ご理解ください。
牛島会長	意見としては以上のようなので、議事の2番目のその他で、事務局から何かありますか。
政策課副課長	〔【当日配布資料2】今後のスケジュール(予定)に基づき説明〕
牛島会長	よろしいでしょうか。次回までに素案が示されると思いますので、本日の会議資料も含めて目を通して、次回会議でもいろいろな意見を出していただきたいと思います。それでは、以上をもちまして、本日の会議を終わります。お疲れさまでした。